

Ⅲ 進学者選考要項

(進学時期：2023年10月，2024年4月)

1 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を，2024年3月(2023年10月進学の志願者は2023年9月)で修了する見込みの者

2 出願手続

(1) 出願方法

進学志願者は，(5)出願に必要な書類等を，(2)出願期間の受付時間(8時30分から17時00分まで)内に(3)提出先へ持参してください。

検定料は不要ですので，間違って支払わないでください。

(2) 出願期間

2023年10月進学者選考試験	2023年 7月31日(月) ～
2024年 4月進学者選考試験(第1回募集)	2023年 8月 1日(火)
2024年 4月進学者選考試験(第2回募集)	2024年 1月29日(月) ～ 2024年 1月30日(火)

郵送する場合は，必ず「書留・郵便速達」とし，封筒の表に「岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士後期課程入学願書在中」と朱書して，上記の出願期間最終日までに到着するように郵送してください。

進学志願者は，出願前のなるべく早い時期に志望指導教員と連絡をとり，研究内容及び試験内容等について相談してください。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

電話(086)251-7771

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は，いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 入学願書 履 歴 書 受 験 票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。縦 4.0cm×横 3.0cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を「入学願書」「受験票」の所定欄にのりで貼り付けてください。貼る前に, 写真の裏面に志望専攻名と氏名を記入してください。
② 成績証明書	博士前期課程(修士課程)のものを提出してください。
③ 研究経過報告書	本研究科所定の用紙に2,000字程度で作成してください。
④ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑤ 連絡受信先シール	必要事項を記入してください。
⑥ 在留カードのコピー等	日本国籍以外の志願者のみ 国籍・氏名・在留資格等の確認のため, 以下の書類を提出してください。 在留カードの両面コピー又は市区町村長の交付する住民票(写)の原本(国籍・在留資格・在留期間が明示されたもの) 及び
⑦ パスポートのコピー	パスポートのコピー(氏名・国籍・顔写真が掲載されているページ)

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は, 入学者選抜(進学者選考)に係る業務に使用します。

ただし, 進学者については進学願書に記載された氏名, 性別, 生年月日, 現住所, 出身学校等の個人情報を本学学務情報システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また, 合格者の受験番号, 氏名(漢字・カナ)の個人情報については, 本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお, 授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は, 申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を授業料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

3 受験票の交付

受験票は, 次のとおり志望指導教員に交付します。志望指導教員から受領してください。

2023年10月進学者選考試験	2023年 8月 3日(木)頃
2024年 4月進学者選考試験(第1回募集)	
2024年 4月進学者選考試験(第2回募集)	2024年 2月 1日(木)頃

4 進学者選考方法等

進学者の選考は, 口頭試問, 書類審査の結果を総合して行います。

口頭試問については, 研究経過報告書及び研究計画書を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問のなかで、英語（外国人に対しては日本語）の能力に関する試問を行うことがあります。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

2023年10月進学者選考試験及び2024年4月進学者選抜試験（第1回募集）

期 日	試験区分	時 間	試問場所
2023年8月18日（金）	口頭試問	午前9時30分～	志望指導教員から後日連絡します

2024年4月進学者選考試験（第2回募集）

期 日	試験区分	時 間	試問場所
2024年2月 9日（金）	口頭試問	午前9時30分～	志望指導教員から後日連絡します

- （注） 1. 前記の試問の日時は、入学志願者に連絡の上、変更することがあります。
 2. 試問の日時及び試問場所について、試験期日の4日前までに連絡のない場合は、担当係（16ページ）へ問い合わせてください。

5 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

進 学 者 選 考 試 験	日 時	掲 示 場 所
2023年10月入学者選考試験	2023年 9月 8日（金） 午前10時	岡山大学自然系研究科等 学務課大学院担当 （工学部1号館1階） 事務室前掲示板
2024年 4月入学者選考試験 （第1回募集）		
2024年 4月入学者選考試験 （第2回募集）	2024年 2月28日（水） 午前10時	

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/>
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

6 進学手続

(1) 進学手続方法

合格者は、所定の進学手続を完了することにより、進学が許可されます。

詳細は、後日、合格者に別途通知します。

(2) 進学手続期間

進学手続期間については次のとおり予定していますが、詳細は、後日、合格者に通知します。

2023年10月進学者選考試験	2023年 9月19日（火） ～
	2023年 9月20日（水）

2024年 4月進学者選考試験（第1回募集）	2024年3月14日（木）
2024年 4月進学者選考試験（第2回募集）	～ 2024年3月15日（金）

7 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料は不要です。

授業料(半期分) 267,900円 (年額) 535,800円〔予定額〕

※進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
その他の費用として、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

(3) 昼夜開講制

ヘルスシステム統合科学研究科では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用し、昼間だけでなく夜間等（土曜日、夏季・冬季休暇など）においても授業及び研究指導を行っています。

(4) 長期履修制度

職業を有している等の理由により、標準修業年限3年を超えて計画的に履修する制度です。
許可された場合は、標準修業年限分の授業料で教育課程を履修することができます。詳細は、入学手続き時にお知らせします。

(5) 大学院博士後期課程就学支援奨学金（募集予定）

日本国籍または日本国の永住権を有する4月入学（進学）者の中で入学試験の成績が優秀である者を対象に経済的支援を行う制度です。

受給資格および申請方法等の詳細は、以下URLよりご確認ください。

URL: <https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/students/scholarship/>

(6) 大本育英会給与奨学金（募集予定）

公益財団法人大本育英会では、以下に掲げる岡山大学（以下「本学」という。）の学生（日本国籍に限る）を応募対象として、年額120万円の給付型奨学金を設けています。

- ・本学博士前期課程（修士課程）の学生で、本学博士後期課程（博士課程）への進学を予定する者（博士後期課程（博士課程）へ進学後、1～3年次の3年間支給）
- ・本学以外から入学した博士後期課程1年次生（2～3年次の2年間支給）

大本育英会給付奨学金及びその他民間団体・地方公共団体の奨学金の募集内容については、岡山大学ホームページの「民間・地方公共団体の奨学金」で最新情報を確認してください。

URL: https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-2.html

(7) 安全保障輸出管理制度

岡山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「岡山大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

「外国為替及び外国貿易法」等により規制されている事項に該当する場合は、入学を許可しない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があります。

参考（経済産業省ホームページ） URL: <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

(8) 担当係

出願に際して不明の点があれば、担当係へ問い合わせてください。

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

電話（086）251-7771

問い合わせ先 E-mail hs7771@adm.okayama-u.ac.jp

ヘルスシステム統合科学研究科 URL: <http://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/>

Ⅳ ヘルスシステム統合科学研究科専攻案内

専 攻	講 座	部 門	教育研究分野
ヘルスシステム 統合科学専攻	ヘルスシステム 統合科学講座	バイオ・創薬	生体機能分子設計学
			1 分子生物化学
			細胞機能設計学
			無機バイオ材料工学
			生体分子工学
			オルガネラシステム工学
			蛋白質医用工学
			分子細胞工学
		医療機器医用材料	人間情報処理学
			医用情報ネットワーク学
			先端医用電子工学
			インタフェースシステム学
			認知神経科学
		ヘルスケア サイエンス	ヘルスシステムマネジメント学
			看護科学
			生体情報科学
			放射線健康支援科学
			生体機能再生再建医学
			医療技術臨床応用学
		ヒューマンケア イノベーション	日本文化論
			宗教人間文化論
			医事法学
			科学史技術論
			臨床死生学
			ソーシャルイノベーション論

参考に、本研究科教職員一覧をご覧ください。<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

注① 志望指導教員へ連絡される場合は、本研究科教職員一覧記載の連絡先または以下の代表電話へお掛けください。

＜岡山市津島キャンパス＞ 代表電話 086-252-1111

＜岡山市鹿田キャンパス＞ 代表電話 086-223-7151

注② 次ページ以降に掲載のある教員は、授業のみ担当し研究指導を行わない場合もありますので、あらかじめ志望指導教員に連絡し、確認してください。

注③ 本専攻案内は、募集要項作成時点での予定のため、変更になることがあります

ヘルスシステム統合科学専攻 ヘルスシステム統合科学講座

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所 属 教 員
バ イ オ ・ 創 薬	生体機能分子設計学	核酸結合タンパク質や酵素を始めとした、生体機能制御分子の機能解析及び得られた知見に基づいて設計した人工生体機能分子の医療・農業への応用を目指した異分野融合研究	世良 貴史 教授 森 友明 講師 森 光一 助教
	1 分子生物化学	タンパク質の機能解析及びその分子機構の解明、医療・環境科学への応用	☆井出 徹 教授 平野美奈子 准教授 早川 徹 助教
	細胞機能設計学	細胞内シグナル伝達研究と創薬科学への応用	徳光 浩 教授 曲 正樹 助教 △大塚 里美 助教
	無機バイオ材料工学	無機材質を基本とした構造が精密に制御された医用材料の設計と応用に関する研究	早川 聡 教授 吉岡 朋彦 准教授 △片岡 卓也 助教
	生体分子工学	新規生体機能分子の設計に立脚し、主としてRNAの働きに着眼した生命工学・生命科学研究	大槻 高史 教授 渡邊 和則 准教授
	オルガネラシステム工学	細胞内オルガネラ形成や物質輸送制御の機序解明とその応用に関する研究	佐藤 あやの 准教授
	蛋白質医用工学	蛋白質の効率的な生産・解析法の開発と医用工学分野への応用に関する研究	二見 淳一郎 教授
	分子細胞工学	免疫細胞機能の分子レベルでの解明とその応用技術の開発	金山 直樹 准教授
医 療 機 器 医 用 材 料	人間情報処理学	信号処理、確率統計理論、機械学習等に基づいて人間の視聴覚情報処理や行動を分析、モデル化すると共に、それらをサービスに応用する研究	☆阿部 匡伸 教授 相田 敏明 講師 △原 直 助教
	医用情報ネットワーク学	コンピュータネットワークや通信プロトコルの性能解析・評価法及び高信頼化・高機能化法とそれらの医用への応用	☆横平 徳美 教授 △樽谷 優弥 助教
	先端医用電子工学	バイオ・メディカル分野で重要なセンサデバイスをを用いた各種計測技術、システム化及び信号処理設計に関する研究	紀和 利彦 教授 △王 璿 助教
	インタフェースシステム学	人間と協調したり人間の活動を支援するヒューマン・マシン・インタフェース技術及びロボット技術とそれらの医療・介護システムへの応用に関する教育研究	中澤 篤志 教授 亀川 哲志 准教授
	認知神経科学	認知心理学とニューロンイメージング手法を用いたヒトの認知神経機能の解明及び医療福祉への応用に関する教育研究	☆呉 景龍 教授 高橋 智 准教授 楊 家家 助教

注 1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注 2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に事務にお問い合わせください。

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所 属 教 員
ヘル ス ケ ア サ イ エ ン ス	ヘルスシステムマネジメント学	医療の臨床実践や新規治療法開発において、有限の人材、資源、資金を有効に利用し配分しながら、組織を構築し、戦略を立て、人材を動機づけていくための理論構築に関する研究	渡邊 豊彦 教授＊
	看護科学	災害時の保健・医療・公衆衛生・福祉の戦略的対応を可能にするミクロからマクロまでの組織構築に関する研究、および支援者支援に関する研究	原田奈穂子 教授＊
	生体情報科学	生体情報を正しく計測・処理する技術およびその解析・評価法、さらに得られた情報、データベース等に基づいた社会での活用に関する教育研究	森田 瑞樹 教授＊
	放射線健康支援科学	医療分野における放射線の物理計測・評価技術の開発応用や生体への治療効果・副作用など予測シミュレーションに関する研究	笈田 将皇 准教授＊
	生体機能再生再建医学	医工連携による機器開発と評価、視覚に係る臨床研究、社会や医療における視覚の役割に関する研究	☆松尾 俊彦 教授＊
	医療技術臨床応用学	ナノテクノロジーを用いた医薬品などを、実際の疾患治療に活用する際の、疾患知見を踏まえ血管や繊維組織を中心とした生物学的な反応解析研究、または、医療データによる疫学的な解析研究	狩野 光伸 教授
ヒ ュ ー マ ン ケ ア イ ノ ベ ー シ ョ ン	日本文化論	医療・ケアの現場に根ざした東アジア・日本の老年観・死生観を中心とした研究	本村 昌文 教授
	宗教人間文化論	人間の生と死や身体と魂（精神）の関係についての思想的・宗教学的的研究	△袴田 玲 講師
	医事法学	医療現場に生起する法的諸課題を医療行為と医療制度の両面から把握・分析したうえで、解決策を提示し得る人材の養成を志向する教育研究	△穴戸 圭介 教授
	科学史技術論	ケアにかかわる科学技術の発展と高齢化諸問題との関連やあり方に関する研究	吉葉 恭行 教授
	臨床死生学	医療・ケア現場における死生に関する課題と、問題解決のための理論・具体的方法のあり方の臨床死生学的な研究	日笠 晴香 講師
	ソーシャルイノベーション論	医療・ケア現場における多様な課題に対する技術革新および社会イノベーションの開発・適用に関する教育研究	藤井 大児 教授

注 1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注 2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に事務に問い合わせてください。

注 3) ＊印は、鹿田キャンパスの教員です。